

More Fun さらに楽しもう!
美馬市

周辺スポット



うだつの町並み

江戸時代から明治時代にかけて商業の中心地だったかわいには豪商の家並みが今も残り、各家の2階に繁栄の証しであるうだつが見られます。近くには、1934(昭和9)年に建てられた芝居小屋「脇町劇場オデオン座」も(見学可)。

美馬市脇町字突抜町・町南 ☎0883-53-8599(一社)美馬観光ビューロー) 【脇町劇場オデオン座】美馬市脇町大字猪尻字西分140-1 ☎0883-52-3807 9時~17時(入館は16時30分まで) 火曜(祝休日の場合は翌平日)、12月27日~1月1日 一般200円、小・中学生100円、小学生未満無料 道の駅藍ランドうだつ駐車場39台(無料)



本楽寺

828(天長5)年に恵運が開創したと伝わる古刹。標高740.9メートルの高丸山が吉野川に張り出した地点に立ち、大河を借景にした枯山水の庭園は必見です。懐石精進料理(5人以上、1週間前までに要予約)も人気を集めています。

美馬市穴吹町三島字小島123 ☎0883-52-2754 9時~17時(11月~3月は16時30分まで) 300円 4台(無料)

グルメ



そば米雑炊

ソバの実(そば米)と鶏肉、野菜をだし汁で煮込んだ、徳島県西部の郷土料理。栄養価が高く低カロリーということで最近健康食品として注目されています。うだつの町並みに軒を連ねる「茶里庵」のそば米雑炊セットは田舎豆腐、デザート付きで1,080円。

茶里庵
美馬市脇町132-5 ☎0883-53-8065
10時~15時 火曜(その他臨時休業あり)



じっくり見てみよう

- 1 長年土石流に削られ、石の表面には凹凸ができています。
- 2 春にはチューリップや桜が咲き乱れるデ・レイケ公園。
- 3 普段は水が無い大谷川。手前の砂防堰堤は大正以降に造られたもの。



徳島県美馬市

えんてい
デ・レイケの堰堤

美馬市脇町大字北庄字柴床91-3
完成年: 1887(明治20)年
形式: アーチ式石積み砂防堰堤
用途: 土砂の流出防止、河床安定
堤長: 97m(現在は補強工事により60m)
堤高: 3.8m 幅: 12m
国登録有形文化財



うだつが残るまちを
土砂災害から守る
明治生まれの堰堤

かつて阿波藍の舟運で栄え、往時の繁栄を示す「うだつ」が残る美馬市脇町。まちの中央を流れる大谷川には幾つもの砂防堰堤が見られます。江戸期以前の大谷川は、ひとたび大雨が降ると多量の土砂が流出したため、土石流を受け止め、土砂を一時的にためて少しずつ流す堰堤が必要だったのです。

最古は1887(明治20)年完成のデ・レイケの堰堤。明治新政府に招かれたオランダ土木技師、ヨハニス・デ・レイケの指導により、全て人力で築かれました。粘土で基礎部分を造り、その上に松の丸太を並べ、さらに表面を石で覆ったという石造りの堰堤は、長さが97メートルにも及ぶ大規模なもの。階段状で、しかも緩やかな弧を描きながら川を横断しており、当時の職人の苦勞がしのべれます。

130年余りたった今も機能を維持し、流域のまちに安心を届け続けます。災害が少なくなった川辺には遊歩道や公園が整備され、のどかな山里に彩りを添えています。

日本滞在中、各地の河川改良に大きな功績を残したデ・レイケ。



☎(一社)美馬観光ビューロー ☎0883-53-8599 ●旧脇町庁舎職員駐車場60台(無料) ●徳島自動車道「脇町」ICから約15分



識者に聞く!

当時の職人の技術力の高さには脱帽です

脇町・うだつの町並みボランティアガイド連絡会会長 塩田 正則さん

デ・レイケの堰堤が1世紀以上たった今も現役なのは、設計の力もさることながら、当時の職人の技術力が高かったからだと思います。日本人は城の石垣や川の堤防など、さまざまな建造物を石積みで造ってきました。吉野川にも江戸時代の石の堤防が残っています。連綿と受け継がれてきた石積みの技術があったからこそ、デ・レイケの堰堤は完成したのでしょう。